



# 月刊 千葉労働

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号 (動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2939 番  
(公) 043 (222) 7207 番

97.2.19 No. 4550

## 家族会第9回総会 10周年レセプション

# 盛大に開催



第9回総会  
千葉労働家族会

二月十六日、千葉県観光物産センターにおいて、千葉労働家族会第九回定期総会と、家族会結成十周年記念レセプションが、家族会・来賓多数の結集で、盛大に開催されました。

総会は、山田副会長を議長に選出して進められました。最初に佐藤会長から「家族会は、分割・民営化の嵐の中結成され、皆様のおかげで十周年をむかえました。本当に感謝します。動労千葉の家族会であることを誇りに思います。これからも、頑張っていくますのでよろしくお願ひします」との挨拶が行われました。

つづいて、来賓の三里塚反対同盟婦人行動隊郡司とめさん、婦人民主クラブ全国協議会千葉支部の並木さん、船橋市議の江さん、中野委員長から次々と

力強い挨拶をうけました。引き続き議題にうつり、「これから親組合とともに闘い抜いていく」という方針を満場一致で承認し、新役員を選出して、成功裡に閉会しました。

つづいて、水野正美さん(前動労総連合執行委員長・勝浦市議)の記念講演にうつり、「動労千葉一〇年の歩みと社会の動き」をわかりやすく講演していただきました。

そのまま会食にうつり、総武支部の高野さんの手品やゲーム・抽選会等わきあいあいのうちに家族どうし交流を深め、明日からの家族会の奮闘と強化を誓い合い、大成功のうちに終了しました。動労千葉は、これからも家族会とともに戦い抜いていこう!



【写真上】結成から一〇周年を迎えた動労千葉家族会。多数の来賓の方からあいさつを頂きました。【写真右】総会后、分割・民営化から一〇年にわたる動労千葉の闘いについて講演を行う水野さん。



【写真上】家族会結成10周年のレセプション。新たな10年に向けて「乾杯！」

【写真右】総武支部・高野さんの手品。首に巻いた紐を強く引いたら、ほどけちゃった。



### 勝浦運転区廃止地労委(2/10) 田中書記長——会社側反対尋問を一蹴

二月一日、一〇時より、千葉県地方労働委員会において、「勝浦運転区廃止不当労働行為事件」の第六回審問が行われ、田中書記長に対する会社側反対尋問が行われた。

反対尋問で会社側は、九四年一二月ダイ改時で導入された二五五系特急の勝浦・館山での指導員の訓練問題、鴨川運輸区の要員提案の時期、特別列車を仕立てて行った線見訓練での「空列車」運行の問題、効率化して労働時間が短くなったから労働強化になっていないのではないかという尋問を行ってきたが、結局、勝浦運転区廃止—鴨川運輸区設置が不当労働行為であるという救済申し立ての内容に触れることができなかった。

それどころか、田中書記長から、効率化とは要員を減らして労働密度を上げることだ。勤務が改善され準備時間等も切られてしまう中で拘束時間は伸び労働強化されているのが現状であること、しかも、運転士には「営業感覚」が必要というなら、優秀な運転士をなぜ「塩漬け」にしておけるのか、人権侵害である、と厳しく糾弾されるなど、全く迫力に欠ける尋問であった。

次回審問は、三月一〇日、一〇時から、会社側・福島証人に対する尋問が行われる。

勝浦運転区復活を目指し、傍聴動員に結集しよう。